

令和4年度の市民参画事業にかかる進捗状況について（報告）

1 市民懇談会等の取り組みについて

(1) 市民懇談会

市民懇談会とは住民基本台帳から無作為に抽出した市民（1,000～2,000名程度）を対象に、市の条例や各種計画等の政策づくりの企画段階において話し合いをしていただき、その結果を政策検討に活用するもの。そのうち、18歳～39歳の若年層を対象に、“守山の未来”について気軽に話し合い、まちづくりや市民参画へのきっかけを提供することを目的としたものを「もりやま未来ミーティング」と呼んでいる。参加者の多少にかかわらず、通知文の受信者に市の事業や取組をPRする効果も期待できる。なお、各グループにはファシリテーターを配置し、参加者が話しやすい雰囲気づくりに努めている。

① もりやま未来ミーティング（市民協働課）

日 時：令和4年7月23日（土）午後1時30分から午後4時30分まで

場 所：市民交流センター サロンルーム

テーマ：「まちは誰のもの？～パブリックハック 私から始まるまちづくり～」

参加者：24名

② もりやま未来ミーティング（スポーツ振興課 共催） … 別紙1

日 時：令和4年12月18日（日）午後1時30分から午後4時30分まで

場 所：市民交流センター サロンルーム

テーマ：「国民スポーツ大会を守山市で盛り上げる『おもてなし』を考えてみよう」

参加者：13名（参加者7名、市民ファシリテーター3名、職員ファシリテーター3名）

※12名が参加予定であったが、5名が当日キャンセル

※託児利用者は1名（児童1名）

目 的：「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025」の開催に伴い、守山市でできる“おもてなし”について参加者の意見を聞き取る

成 果：Facebook や Instagram 等の SNS による情報発信を盛り込んだ「守山フォトスポット巡り」や、駅前や試合会場において守山の祭り等を披露する「住民参加によるお出迎えイベント」、守山の名所を巡る QR コードを活用したデジタルスタンプラリーなどの意見が出た。これらの意見を参考に担当のスポーツ振興課で実施に向けて具体的に検討していくとのこと。

③ 市民懇談会（環境政策課 共催） … 別紙 2

日 時：令和 5 年 2 月 4 日（土）午前 9 時 30 分から午後 0 時 30 分まで

場 所：市民交流センター 多目的ホール

テーマ：「2050 年の守山の未来像 守山の環境について夢を語ろう」

参加者：26 名（参加者 17 名、龍大ファシリ 5 名、市民ファシリ 2 名、職員ファシリ 2 名）

23 名が参加予定であったが、6 名が当日キャンセル

傍聴者：2 名

目 的：地球温暖化やマイクロプラスチックなどの環境問題が表面化しているなか、策定に取り組んでいる「第 3 次守山市環境基本計画」への参考にすべく、未来の守山の環境がどうあってほしいかについて市民の意見を聴取する。

成 果：守山の環境について、現状・未来・理想の実現のためにすべきことの観点から話し合っていた。生ごみや耕作放棄地、空き家の有効利用、環境活動の SNS 発信など新たに実施できそうなアイデアが出ていた。今回の意見は今後の審議会に諮っていくとのこと。

④ もりやま未来ミーティング（守山市議会 共催） … 別紙 3

日 時：令和 5 年 2 月 4 日（土）午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

場 所：市民交流センター 多目的ホール

テーマ：「守山を住みやすさ日本一のまちにするために」

参加者：46 名（参加者 31 名、龍大ファシリ 6 名、市民ファシリ 5 名、職員ファシリ 4 名）

32 名が参加予定であったが、1 名が当日キャンセル

傍聴者：17 名（うち一般傍聴 5 名）

目 的：「住みやすさ日本一が実感できるまち守山」を達成するため、今後の守山市を担う世代の市民に守山の魅力や課題について語り合い、理想のまちについて考えていただく。

成 果：6 つのグループには市議会議員（議会改革・広報広聴特別委員会）が記録係として同席され、市民懇談会を間近で体験いただいた。市議会とともに市民懇談会を開催することは全国的にも例が少ないとのこと。

今回の成果物（模造紙）については市議会に贈呈したが、特別委員会で次年度以降の開催方法や市民との関わり方について検討されるとのこと。

⑤ 市民懇談会（都市計画・交通政策課 共催）

日 時：令和 5 年 3 月 4 日（土）午前 9 時から正午まで

場 所：市民交流センター 多目的ホール

テーマ：「これからの守山の公共交通について話し合おう」

(2) 学区市民懇談会（わがまちミーティング）

日 時：令和 5 年 2 月 11 日（土）午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

場 所：守山会館

テーマ：「いま、求められる地域のつながりってなんだろう？

～ 一人一人が幸せに暮らすために地域で必要なこと ～」

目 的：まちづくりの担い手づくり、「新たなまちへの関心を生み出す場」の提供

(3) 市民ワークショップ等

市民ワークショップとは、広報等で参加者を募ったり、審議会等の委員同士で行うなど、無作為抽出の手段を取らない方法によって集まった方々でテーマについて話し合っているもの。市民懇談会等と同様に各グループにはファシリテーターを配置する。

① 人権啓発広報誌の作成に係るワークショップ（人権政策課）

日 時：令和 4 年 8 月 25 日（木）午前 9 時 30 分から午前 11 時まで

場 所：守山市立図書館 多目的室

参加者：11 名

② 文化財でつなぐ、守山～これからの文化財の保存と活用を考える～（文化財保護課）

日 時：令和 4 年 9 月 3 日（土）午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

場 所：生涯学習・教育支援センター（エルセンター）大会議室

参加者：5 グループ・29 名

③ 立入公園の整備に向けたワークショップ（土木管理課）

日 時：令和 4 年 10 月 15 日（土）午前 10 時から

場 所：吉身会館

参加者：7 名

目 的：基本理念「野洲川の豊かな水と緑を活かしたスポーツ・交流・憩いの場」を実現する公園づくりのための意見聴取

成 果：子どもからお年寄りまで多世代が交流できるような公園としたい。RV パークやマルシェとしての活用といったアイディアが出た一方で、子どもたちがボール遊びができることやペットの散歩に利用できることなど地元の公園としての機能を求める声もあった。また、立入町の地域の特色として、豊富な湧水を活用した小川の整備についても意見が出た。

(4) これからの協働のまちづくり職員勉強会（市職員有志ワークショップ）

持続可能なまちづくりの実現に向けて、有志職員による自主的な勉強会をR3年度に立ち上げ、本来業務の垣根を越え、自由な意見交換形式で勉強会を開催した。

日 時：令和4年9月5日（月）午後1時30分から午後2時30分まで

場 所：守山市民交流センター 研修室1

参加者：10名（職員有志メンバー）

2 市民提案型まちづくり支援事業の実施について … 別紙4

市民公益活動団体の自主的・自発的に取り組むまちづくり活動を支援するもので、その活動経費に対し、各区分の設定金額に応じた助成金を交付するもの。

(1) チャレンジ応援事業【令和4年度新設、上限3万円、助成率10/10】

- ① 第一次募集分（令和4年5月2日～5月20日、採択4団体、助成決定額114,700円）
 - ② 第二次募集分（令和4年5月21日～7月20日、採択4団体、助成決定額120,000円）
 - ③ 第三次募集分（令和4年7月21日～9月20日、申請なし）
 - ④ 最終募集分（令和4年9月21日～11月17日、採択2団体、助成決定額60,000円）
- ・ 採択団体：10団体
 - ・ 助成決定額：294,700円

(2) 地域貢献事業（旧・きっかけづくり事業）【上限15万円、助成率10/10】

および自立事業化前提型事業【上限50万円、助成率10/10】

- ・ 採択団体：地域貢献事業10団体、自立事業化前提型事業1団体
- ・ 助成決定額：1,966,900円

3 ふるさと納税を活用した「豊かな市民活動のまち応援事業」（企画政策課）

地域活性化や地域課題解決を目的に市民団体などが自主的・継続的に取り組む事業への支援を拡充するため、ふるさと守山応援寄附（ふるさと納税）を通じて、市内外の人から応援してもらえる仕組みとして令和4年度新設。認定された団体は、守山市のふるさと納税の希望使途のリストに掲載され、指名があった寄付の一部を財源に翌年度に市が補助金を交付するもの。認定委員会を経て、3団体（オムスビの会、認定NPO法人びわこ豊穰の郷、ワーカーズコレクティブ たすき星準備会）が認定された。

4 「市民参加と協働のまちづくりフォーラム」の開催 … 別紙 5

未来を見据えたまちづくりに対する市民意識の醸成を目的に、まちづくりの課題解決のヒントにつながる活動の事例発表や講演を開催する。

(1) 第 1 回：令和 4 年 5 月 29 日（日）守山市民交流センター 多目的ホール

まちづくり推進員リーダー研修会（社会教育・文化振興課）と合同開催

【第一部】学区・団体等の活動取組報告

「河西まるごと活性化プランの取り組みについて」 河西学区 様

「演劇で守山に『未来のチカラを』」 もりやまふるさと劇団 様

【第二部】まちづくりの先進事例

「若者の地域活動への参加」 日本青年会館 山本信也 様

(2) 第 2 回：令和 5 年 2 月 26 日（日）守山市民交流センター

【第一部】団体等の活動取組報告

・オムスビの会

・もりやまこども日本語学習クラブ

【第二部】講演

「孤立した親・こどもが一人もいない社会を目指して」

西成チャイルド・ケア・センター 代表理事 川辺康子 様

5 ファシリテーター養成講座（基礎編・フォローアップ編）の実施

中立的な立ち位置から意見を調整したり、積極的な意見交換を促すなど、効率的かつスムーズな会議運営に欠かせないファシリテーター。段階的にファシリテーションを学んでいただけるよう基礎編とフォローアップ編に分けて実施している。また、本養成講座を受講された方は市民懇談会やワークショップ等でファシリテーターとしてご活躍いただいている。

(1) 職員向けファシリテーター養成講座

日 時：令和 4 年 12 月 23 日（金）

場 所：守山市民交流センター サロンルーム

講 師：谷口 知弘氏（福知山公立大学 地域経営学部 教授）

受講者数：37 名（午前の部 19 名、午後の部 18 名）

(2) 市民向けファシリテーター養成講座 基礎編

日 時：令和 5 年 1 月 7 日（土）午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

場 所：守山市民交流センター

講 師：谷口 知弘氏（福知山公立大学 地域経営学部 教授）

受講者数：23 名

(3) ファシリテーター養成講座 フォローアップ編

日 時：令和5年1月27日（金）午後1時30分から午後4時30分まで

場 所：守山市民交流センター

講 師：西川 実佐子氏（認定特定非営利活動法人しがNPOセンター 事務局長）

受講者数：20名（職員12名、市民8名）

※(2)、(3)は「まちサポセミナー」（後述）のメニューとして今年度は開催

6 市民活動手引書「もり・まっち」等の発行

市民活動に関する情報（市民交流センターや図書館等の市内公共施設の使用料など）を記載した市民活動手引書「もり・まっち」および、団体同士の連携やつながりを創出することを目的とした「市民活動団体マッチングリスト」を発行し、市内関係施設に設置。

7 「さんさんまちサポセミナー」の開催

市民活動やまちづくりに取り組まれている方々に向けて、日々の活動における困りごとの解決や団体活動の幅を広げていただくことを目的に開催。ITツールの活用や情報発信、資金調達など団体活動に有益なセミナーを企画。現在取組を進める中間支援機能の一環として開催（一部のみの受講も可、受講料無料、託児対応も可）

	日時・テーマなど	受講者数
第1回	9月24日（土）10：00～11：30 「コロナに負けるな！活動継続のためのZ o o m活用術」	12名
第2回	10月15日（土）13：30～16：30 「イチから分かるSDGs ～今、私たちにできること～」	8名
第3回	11月2日（水）19：00～20：30 「新たな資金調達のカタチ クラウドファンディング」	9名
第4回	11月25日（金）10：00～11：30 「わかる！コミュニティ運営と伝わる情報発信」	6名
第5回	12月10日（土）10：00～11：30 「デザインの幅が広がる！C a n v aの使い方講座」	23名
第6回	12月17日（土）10：00～11：30 「労働者協同組合ってなに？新しい活動のカタチ」	5名
第7回 （前述）	1月7日（土）13：30～16：30 「ファシリテーター養成講座 基礎編」	23名

第 8 回 (前述)	1 月 27 日 (金) 13 : 30 ~ 16 : 30 「ファシリテーター養成講座 フォローアップ編」	20 名
第 9 回	2 月 10 日 (金) 13 : 30 ~ 16 : 00 「NPO 向け決算講座 会計編」	
第 10 回	3 月 28 日 (火) 19 : 00 ~ 20 : 30 (予定) 「令和 5 年度市民提案型まちづくり支援事業について」	

8 パブリックコメントの実施

引き続き、情報発信や意見収集方法に工夫を加え、担当課からの計画に応じて実施する。

(参考) R 3 年度結果 10 件実施、意見提出者数 15 件、提出意見数 42 件

	件 名 (所管課)	意見募集期間	提出者数	意見数
1	守山市都市計画基本方針 (守山市都市計画マスタープラン) 改訂案 (都市計画・交通政策課)	R4. 7. 1 ~ R4. 7. 21	3	12
2	守山市個人情報保護条例の改正 (総務課)	R5. 1. 10 ~ R5. 1. 31	0	0

9 守山市民交流センター「さんさん守山」について

(1) 施設利用状況 (12 月末時点)

○文化活動スペース (貸館) 利用者数 18,258 名 (R 3 : 26,609 名)

施設利用率 44.0% (R 3 : 55.3%)

→天井部材剥落のため貸館を停止していた多目的ホールの貸館を 11 月 21 日から再開。

○市民活動スペース (無料) 利用者数 3,954 名 (R 3 : 3,068 名)

施設利用率 17.9% (R 3 : 16.5%)

(2) 事業実施

①「もりやま市民活動フェスタ 2022」の開催 (実行委員会主催)

令和 3 年度より、市民活動団体主体の「市民活動屋台村」と文化・スポーツ活動団体主体の「さんさん守山文化祭」を一体化させた「もりやま市民活動フェスタ」を開催。センター主導ではなく、実行委員会主体による企画・運営を進める。

・日 時 : 令和 4 年 11 月 19 日 (土) 午前 10 時から午後 5 時まで

11 月 20 日 (日) 午前 10 時から午後 3 時まで

・内 容 : 活動展示、体験コーナー、ステージ発表など

- ・参加者：延べ 600 名
- ・結 果：6 月から 10 月にかけて全 5 回の実行委員会を開催し、内容や会場の装飾、広報等について、実行委員の意見を伺いながら準備を進めたが、委員会の進行や議題提案等は、ほぼ事務局が担うこととなった。実行委員の積極性や主体性を引き出すことが来年度以降の課題である。
今年度は、集客のための目玉企画として、吉本興業所属の芸人によるお笑いステージや、市内の福祉事務所や作業所の物販、米袋エコバッグづくり体験コーナーを実施したが、いずれも非常に効果的であった。センター利用者や団体と市民が交流し、お互いを知る貴重な機会となった

②「さんさんまちサポセミナー」の開催（センター主催）（前述 6 のとおり）

市民活動団体向け市民交流センターの中間支援事業の一環として初めて企画

③センター協力事業（開催目的の公益性を鑑み、センターで開催日の施設を事前予約）

ア パソコンおたずね室（毎週水曜日、午後 1 時～、交流室）

イ 歌おう会（毎月第 2・第 4 水曜日、午後 1 時 30 分～、サロニールーム）

ウ 暮らしの相談室（毎月第 4 木曜日、午後 1 時～午後 5 時、ミーティング室）

10 先進自治体の視察（中間支援組織の構築に向けた取組）

市民交流センター機能の見直しを行うにあたって大きな課題となっている、中間支援のあり方、またその機能を担う組織の構築や人物の発掘等について、先進的な取組を実施している自治体を視察し、今後の本市での取組の参考とするため実施。

(1) 県外視察

① 関東地方 4 市

- ・日 程：令和 4 年 10 月 6 日（木）から 10 月 7 日（金）まで（1 泊 2 日）
- ・視察先：神奈川県横浜市市民協働推進センター
神奈川県藤沢市市民活動推進センター
東京都府中市市民活動センター プラッツ
神奈川県川崎市 かわさき市民活動センター

② 中部地方 3 市

- ・日 程：令和 4 年 11 月 21 日（月）から 11 月 22 日（火）まで（1 泊 2 日）
- ・視察先：愛知県小牧市市民交流テラス ワクティブこまき
愛知県岡崎市りぶら市民活動センター
長野県佐久市市民活動サポートセンター

(2) 県内視察

- ① 草津コミュニティ支援センター（草津市）
- ② 長浜市市民活躍課、ながはま市民協働センター（長浜市）
- ③ まちづくりネット東近江（東近江市）
- ④ まちづくりスポット大津（大津市）
- ⑤ 大津市市民活動センター（大津市）

11 市民活動団体拠点施設の視察（中間支援組織の構築に向けた取組）

市民交流センター機能の見直しを行うにあたって大きな課題となっている、中間支援のあり方に関して、市内にある市民交流センター以外の市民活動団体が活動の拠点としている施設への聞き取りを行い、情報を整理。将来的には、各施設間での連絡協議会によって情報交換を行い、市民と各施設をマッチングできるような仕組みを検討する。

- | | | |
|-----------|-----------|----------------|
| ・ 社会福祉協議会 | ・ 市民ホール | ・ 駅前コミュニティセンター |
| ・ 図書館 | ・ エルセンター | |
| ・ 各地区公民館 | ・ あまが池プラザ | |